

図書館便り

四日市商業高等学校図書館

2024年6月号

こんにちは、図書館の吉野です！ 県総体はいかがだったでしょうか？ まもなく体育祭もありますし、真夏の前に、適度な運動で暑熱順化しておくとも熱中症対策にも良いそうですね◎

新着図書案内

『#ハッシュタグストーリー』

SNSがキーアイテムとなる物語を4人の若手作家が執筆した作品集。それぞれ50ページ程の中編小説で、SNSあるあるを織り交ぜつつ、若者たちの青春が描かれていて、共感しやすいテーマだし読みやすいですよ♪



『世界ショートセレクション』

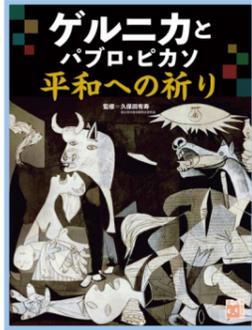
「海外文学」と聞くと、なんだか距離を感じてしまいそうですが、これは『怪盗ルパン』『名探偵ホームズ』などタイトルは超有名！でも実は読んだことないかも…という作品の短いお話を集めた作品集です。表紙も絵本作家のヨシタケシンスケさんで可愛らしいです。



『ゲルニカとパブロ・ピカソ』

／久保田有寿

『ゲルニカ』はスペイン出身の画家ピカソが、第二次大戦中の無差別空爆を嘆き、怒り、巨大なキャンバスに気持ちをぶつけた作品です。反戦の象徴的作品ですが、巨大さと画布の劣化で現在は移動させることが困難です。実物を見たい人はいつかスペイン旅行へ！！



『超 コミュカ』／田村淳

芸人でもあり、近年は多方面で活躍の場を広げる著者の「コミュ術」「コミュカ」は才能ではなく、ちょっとしたコツの積み重ね。知れば誰でもコミュカアップ！友だち関係でも、これから経験する採用・進学面接にも役立つ情報がけっこうありますよ。

『スマホアプリはなぜ無料？』

／松本健太郎

Netflixなど一部のアプリをのぞけば、ほとんどのスマホアプリを無料で使っていますよね？ 多くの人がサービスとして利用できるレベルのアプリを作るには、相応の開発費用が必要なのになぜ…お金の流れ、仕組みが学べる一冊。



『あの企業・店舗が儲けている仕組み』／鎌田正文

ユニクロ、ZOZO、サイゼリアなど、おなじみの企業のビジネスモデルが図解で分かりやすく紹介されています。興味がある人は、日曜朝放送の『がちりマンデー』も色んなタイプのビジネスモデルが紹介されていて面白いですよ！



『「叱らない」が子どもを苦しめる』

／藪下遊

「世界から押し返される」「できない自分と向き合う」これらは、人が成長する過程で重要な経験ではないでしょうか。ですが、良かれと思って、この経験をしないでいいような子供との接し方が増えています。大人に向けたヒント多数アリの一冊です。



『ときめくローカルパッケージデザイン』

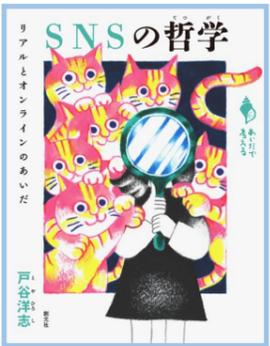
／パイ インターナショナル

おみやげは、味が美味しいのはもちろんですが、パッケージ・包装などの見た目も大事ですよ。つい手に取ってしまう、渡したい相手の反応が見たくなるデザインは、そのおみやげの価値をアップさせてくれます。商品開発・商業デザインに興味がある人にオススメです。



『SNSの哲学』／戸谷洋志

SNS関連の本は、その危険性を注意喚起するものか、「バズらせる方法」みたいな内容が多いですが、本書はもっとシンプルに、私たちはなぜSNSを使うのか、自分とは何か？ みたいなことをのんびり考えるプチ哲学本になっています。



『1人でわかる！韓国語』

／パク・ミソ ほか2冊

韓国のファッションや音楽の人気に伴って、韓国語に興味を持つ生徒も多いですね？ 吹替えや字幕無しで、あのアーティストが喋っているのを知りたい！ これって、勉強する動機としてスゴいですよ◎ ほかにもリクエストがあれば是非お願いします。



特集案内

6月特集「商業科目のヒント・アイデア本」

1学期も早2か月が経過しました。

授業が進み、自分の「分からない」や「もっと知りたい」分野がはっきりしてきたのではないのでしょうか？

商業科目というか、「課題研究」が中心ですが、ヒントやアイデアを膨らませてくれそうな本を集めました。行き詰っている人や、もうひとネタ欲しいという人はのぞいてみてください♪

